

児童朝会 校長の話 9月6日

この週末は、タブレットを持ち帰ってインターネットにつながるか確かめたり、つなげて使ったりしたことと思います。もし、うまくできなかったとしても心配しないで先生に相談してください。できるようにしていきますから大丈夫です。今日と明日は午前授業で、家でチームズを使って学校の先生とつながれるか確かめます。学校と家がつながると、学校を休んでいるときに連絡を取り合うことができますね。もし上手くつながれなかったとしても心配しないで、先生に相談してください。調整してつながれるようにしていきます。

ところで、今年の夏は東京 2020 オリンピック、パラリンピックが行われました。昨日パラリンピックの閉会式が行われ、全ての競技が終わりました。世界中のアスリートの素晴らしい活躍を見るができましたね。たくさんの勇気や感動をもらうことができました。その中で、心に残った選手を紹介します。

皆さんはもし両腕がなかったらどんな運動やスポーツをしますか？ 普段やっているドッジボールや縄跳び、バスケットや野球はできませんね。サッカーや陸上競技ならできるでしょうか。でも両腕がなかったらバランスがとれないし、前に進む力が取りにくく、難しいと思います。さらに足にも障がいがあって歩くこともできなかったとしたら、どんなスポーツをしますか。

山田美幸さんは、生まれつき両腕がなく、足にも障がいがありますが水泳の選手です。中学 2 年生の 14 才で日本チームの中で最年少です。6 年生とは 2〜3 才しか変わりませんね。種目は背泳ぎで、50m と 100m で銀メダルを取りました。

山田選手は、喘息だったので、体を鍛えるために 5 才から水泳



をやり始めました。そして、5年前、リオデジャネイロパラリンピックをテレビで見て、自分も競技をしたいと思い、練習を始めたそうです。

これはスタートの様子です。片足で体を支えて飛び込みます。背泳ぎと言っても腕で水をかくことはできません。



そしてイルカのように上半身を使って前へ



進んでいきます。こうやって泳いで見事銀メダルを2つ取りました。

山田選手の活躍を見ながら思いました。私たちは、どうせできない、〇〇だからできないと決めつけて初めから挑戦をやめてしまっ

ていることが多いのではないのでしょうか。けれども、山田選手が背泳ぎに挑戦したように、できることや、やれることがいっぱいあります。驚くような可能性がいろんなところにあります。どうぞ皆さんも、できないだろうと決めつけないで、いろんな事に挑戦してってください。できることは一杯あるはずです。